

平成28年度第2回太田地域協議会会議録

平成28年6月24日

太田地域協議会

平成28年度第2回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■協議	3
(1) 平成28年度地域枠予算執行事業について	3
■報告	7
(1) 太田地域協議会委員研修会について	7
(2) 新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について	8
(3) 大仙市公共施設等総合管理計画（案）の概要説明について	10
■その他	15
■閉会	15
■署名	16

平成28年度 第2回太田地域協議会 会議録

■日 時：平成28年6月24日（金） 午後3時30分

■会 場：太田支所 2階 会議室

■出席委員：10名

伊藤 勝良、大信田 孝文、柏谷 良雄、川原 猪利、
小柳 真理子、小松 泉、高橋 清一郎、高橋 洋、
冨木 勇、水谷 英明

■欠席委員：5名

石崎 尚、鈴木 栄子、高貝 恵子、高橋 文子、
根本 昇

■出席職員：12名

【本庁】

進藤 博秀（企画部総合政策課参事） 鈴木 一徳（企画部総合政策課主任）
佐々木隆幸（総務部総務課参事） 三浦 政輝（総務部総務課主席主査）
佐々木顕彦（総務部総務課主任）

【太田支所】

安達 成年（太田支所長） 谷口 藤美（市民サービス課長）
加藤 栄子（市民サービス課参事） 煤賀 義博（農林建設課長）
煤賀 康典（太田公民館長） 藤澤 寿史（地域活性化推進室主幹）
菅原 直久（地域活性化推進室副主幹）

■次 第：

- 1 開 会
- 2 会長あいさつ
- 3 支所長あいさつ
- 4 会議録署名委員の指名
- 5 協 議
(1) 平成28年度地域予算執行事業について
- 6 報 告
(1) 太田地域協議会委員研修会について
(2) 新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について

(3) 大仙市公共施設等総合管理計画(案)の概要説明について

7 その他

8 閉会

(午後 3時30分 開会)

○安達太田支所長(以下「支所長」と表記)

定刻となりましたので、地域協議会を始めさせていただきたいと思ひます。

会議を始めます前に、本日の協議会は委員の2分の1以上の出席がござひますので、本協議会は成立いたしますことをご報告いたします。

なお、会議録作成のため、発言の際はマイクをご使用くださるようお願いいたします。

それでは、規定によりまして、会議の進行につきましては高橋会長にお願いいたします。

○高橋太田地域協議会会長(以下「会長」と表記)

それでは、ただいまから平成28年度第2回太田地域協議会を開会いたします。

皆さん大変お忙しい中、正月からすると半年、あっという間に過ぎてしまいました。このように時間が過ぎる中で、月末のお忙しい中こうやってご出席いただきまして、大変感謝申し上げます。よろしくお願ひいたします。

続きまして、安達支所長よりご挨拶をお願いいたします。

○支所長

あらためまして、皆さんこんにちは。次の会もありますので、私の挨拶はちゃちゃっと終わらせたいと思ひます。先の中学校の総体で、残念ながら毎年のように全県に行っておりました野球部はちょっと駄目でしたけれども、女子テニスが優勝して全県に行くということで、大変喜ばしいことだなど。地域も盛り上がっておりますので、是非とも皆さんも全県の方に中学校の応援に行っていただければなと思ひます。バレー部も。

本日は本庁の方から、今大仙市の新市建設計画並びに公共施設の見直しを行ってござひます。それに伴ひまして協議会の委員の皆様にご報告と、ご意見を頂戴するということで出席しておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。早速自己紹介をお願いしたいと思ひます。

【総合政策課進藤参事及び総務課佐々木参事、出席職員紹介】

○会長

ありがとうございました。

それでは、次第4の「会議録署名委員の指名」をさせていただきます。

議事録の署名委員は、小松泉委員、高橋洋委員にお願いいたします。

それでは、次第5の「協議」に入らせていただきます。

「平成28年度地域枠予算執行事業」について、事務局より説明をお願いします。

○事務局（地域活性化推進室）

【平成28年度地域枠予算執行事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型Ⅰ型

1. 倉田政嗣パンフレット増刷事業

事業目的：秋田県民歌の作詞者である太田地域出身の倉田政嗣について、地域の誇りとして後世に伝えることを目的に、倉田政嗣と県民歌について紹介したパンフレットを平成26年度に作成し、平成27年度に増刷しているが、パンフレットを希望する県内外からの問い合わせが多いことから、残部数を考え増刷するもの。

申請団体：太田支所市民サービス課

申請額：129,600円（印刷製本費）

2. 太田地域振興計画説明会開催事業

事業目的：第2次大仙市総合計画の策定にあわせ、太田地域協議会が主体となって地域の特徴・特色を活かした今後10年間の地域振興策などを盛り込んだ「太田地域振興計画」を策定した。概要版は地域内全戸に配布しているが、計画のより詳細な内容について直接地域住民に説明し、計画の周知とあわせて地域と行政の協働のまちづくりを推進するもの。

申請団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：16,200円（消耗品費等）

・実施類型Ⅱ型

1. 太田の夏まつり開催支援事業

事業目的：太田地域に継承される伝統文化等へ触れ合う機会の創出や、地域の人々の交流による心の温かさ、ふるさとの良さ、愛郷精神の醸成や地域の文化・資源などを再確認することを目的とした「第6回太田の夏まつり」の開催を支援するもの。

申請団体：太田の夏まつり実行委員会

申請額：418,840円（需用費、保険料、使用料及び賃借料）

2. 川遊び体験事業

事業目的：地域の活性化や魅力ある地域づくりに取り組んでいる「みずほの里いきいきネット協議会」が、魚のつかみ取り体験などを通して自然に親しみ、ふるさとの良さや人とのつながりを再確認し、地域に誇りを持たせるた

めに実施する「川遊び体験」の開催を支援するもの。

申請団体：みずほの里いきいきネット協議会

申請額：51,000円（消耗品費等）

3. 東北地区高等学校親善交流野球大会開催支援事業

事業目的：地元高校野球のレベルアップや審判技術の向上を図ることを目的に、大曲農業高校太田分校をはじめ、市内及び近隣の高校、東北各県の高校による親善大会の開催を支援するもの。

申請団体：大仙市軟式野球連盟太田支部

申請額：108,800円（消耗品費等）

・実施類型Ⅲ型

1. 太田中学校被災地支援事業費補助金

事業目的：東日本大震災以降、全校体制で被災地支援・被災地交流事業を行っている太田中学校が今後も事業を継続できるよう、活動に対する支援を行っている太田中学校応援隊に対して補助金を交付し、復興支援活動をサポートするもの。

申請団体：太田中学校応援会

申請額：150,000円（補助金）

○会長

ただいま、平成28年度地域予算執行事業について、事務局から説明がありました。皆さん方には事前に資料を配付しておりますので、この6項目を一括審議いたします。何かご質問・ご意見ございませんか。はい、大信田委員。

○大信田孝文委員（以下「大信田委員」と表記）

資料3、太田地域振興計画説明会を開催するというところで、3日間に分けて計画されているようであります。それで、いろんな集まりの場というのはやっぱりいっぱい集まってほしいわけで、そのために事前の、たくさんの方に参集していただけるような段取りというか、いろんなPRも含めた、そういうふうなことで多分地域協議会の委員なり自治組織連絡協議会の委員の方も来るとは思いますけれども、いわゆる一般市民の状況をもう少しどのような形でPRしていくのかなというふうに思いました。それで、夜の会合ですのでなかなか、例えば晩酌やってしまった人は来れないだろうし、そういうふうなこともちょっとあるかと思はれますけれども、その辺当局としてはどういうふうに考えているかお聞かせください。

○支所長

大信田委員のご質問にお答えいたします。大信田委員今おっしゃったように、自治組織

それから協議会、行政協力員それから自主防災、皆さん部落の会長さん方で同じですけれども、宣伝はいたしました。なおかつ7月1日号の広報にチラシを1回入れさせていただきます。こちらとしても開催の時間帯については一応協議はいたしました。日中やるのか夜やるのかといったときに、やっぱり今はどうしても農作業していたり、野菜とかの収穫の時期でもありますし、なかなか日中やっても来ないだろうなということで、まず夜の時間帯にセッティングさせていただきました。大体東と南と北と網羅する形で3カ所ということで。本当はもっとやればいいのかなども思いましたけれども、まず大体その3カ所ということで。あとは知り合い等にお声がけしていただくということで。あと公民館長さんの方からそれぞれ公民館のいろいろなサークルとかありますので、そちらの方にもお声がけはさせていただいてございます。

○大信田委員

そういうふうなことで、たくさんの方が集まることを期待しております。

○会長

他にございませんか。

○谷口市民サービス課長（以下「谷口課長」と表記）

すみません、若干補足させていただきます。倉田政嗣のパンフレットの件ですけれども、実は昨年6月の同じ会議で大信田委員から「1, 000部の増刷で間に合うか。もっとやった方がよくないか。」みたいなことを言われました。いや、多分1, 000部で間に合うだろうと。次に印刷するときにはもう少しバージョンアップしてやるからということをお申し上げしましたがけれども、バージョンアップする暇がないほど売れ行きが良く、出てしまいました。今50部ほどしかありません。非常にこう、やっぱりいまだに、去年わらび座の方で「為三さん」ということであつたんですけれども、このようにちょくちょく何かから情報を得て来ます。このものは無料で差し上げていますけれども、これ1部240円に消費税くらいなんですけれども、郵送料250円かかりますので、郵送料を送ってくればタダであげますということをお申し上げれば、非常にこういった形で来ております。

ちょっと私、それなりに去年から太田支所の中に倉田政嗣が村会議員やっていた当時の会議録、例えば昭和4年とか昭和5年とかありますので、合間をみて見ております。例えば昭和4年の村会会議録を見ますと、横沢小学校と国見小学校、当時は国見分教場とかとなっているようですけれども、その統合問題に対して当時倉田政嗣さん35歳くらいなんですけれども、かなり活発な意見を当時の戸澤さんという村長とやっているような状況がありました。そういったこととかちまちま調べておりますけれども、今回ちょっとバージョンアップしないまでに増刷ということで、そこをひとつお詫び申し上げたいことと、先日から何回かNHKの方から電話で取材がありまして、実は6月27日、来週月曜日です、月曜日の夕方6時15分からのNHKニュースこまちという中で8分間、秋田県民歌の特番を放送してくれるそうです。始まりが6時15分で、いつもであればこういった特

番は6時半過ぎかなというふうに言っていました。その日のニュースの分量か何かで若干時間が前後するらしいですので、皆様できれば月曜日の6時15分過ぎのNHKのニュースを見てくだされば、8分間県民歌とか倉田政嗣とか、そういったことについて放映になるようですので、是非ご覧になっていただきたいと思います。私の方からは以上です。

○会長

ただいま補足説明がございました。ご質問ありませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

前もって資料を配付しておりましたので、質疑・質問の方はないものといたします。これで質疑の方は終了いたします。

それでは、皆様にお諮りいたします。「倉田政嗣パンフレット増刷事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

承認いただきました。

次に、「太田地域振興計画説明会開催事業」につきまして、これも地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

承認いただきました。

次に、「太田の夏まつり開催支援事業」について、これも地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

承認いただきました。

次に、「川遊び体験事業」についても、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○会長

承認いただきました。

次に、「東北地区高等学校親善交流野球大会開催支援事業」について、地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

承認いただきました。

最後ですが、「太田中学校被災地支援事業費補助金」について、これも地域枠予算事業として承認してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○会長

承認いただきました。

以上で、地域枠予算執行事業の協議に関しては終わらせていただきます。

次に、次第の6の「報告」に入ります。

はじめに、「太田地域協議会委員研修会」について、説明をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【平成28年度太田地域協議会委員研修会について、配布資料に基づき説明】

来たる7月22日に大曲市民会館で「大仙市雪シンポジウム」が開催されるが、当日のパネルディスカッションのパネリストに太田地域協議会の太田大信田孝文委員が大仙雪まる隊隊長として出席されるほか、雪モデル対策事業実施団体から田の尻の水谷仁光氏も出席することから、このシンポジウムを太田地域協議会委員の研修会と位置付け、共助による雪対策の推進や、雪国に暮らす者としての雪との付き合い方などを学ぶ機会とするもの。

○会長

ただいま「太田地域協議会委員研修会」について、説明がありました。

皆さんの方から、本件についてご質問等ございませんか。質問じゃないけれども、何かアピールしたいことがあれば。

○大信田委員

以前にも雪関係のシンポジウムというか、そういう形の中で参加して発言させていただいた経緯があって、今回はいいかなというふうに思っていたんですけども、社会福祉協

議会の方を通じて是非というふうなことで要請されまして承諾したわけですがけれども。

いずれ昨年から大仙市でいわゆる雪対策関係のいろんな事業の中で、やはり今までと違う感覚で、雪対策の総合計画を作成した段階でやはり一歩進んだ形で対策を講じていこうという姿勢がすごく強く表れてきているなというふうに感じております。そういう中で、私が活動しているボランティアの部分としていろんな発言をさせていただこうかなと、そういうふうに思っておりますので、今日の中で地域協議会の研修会というふうなことにも設定していただいて、なおさら張り切ってやりたいと思いますので、是非皆さんの参加をよろしくお願いいたします。以上です。

○谷口課長

すみません。水谷仁光さんの件ですがけれども、新しい雪対策ということで27年度から取り組んでいる事業です。全市で14団体取り組んだ中で、太田地域から3団体取り組んでおります。14団体の中でも最も良い取り組み方をしてもらったというふうなことで、田の尻集落が選ばれました。真夏に雪の会議ということですがけれども、太田地域から2人もパネリストとして選ばれていきますので、どうか委員の皆さま方、自分だけでなく隣近所お誘い合わせの上参加していただきたいと思っておりますので、どうかよろしくお願いいたします。これも自治組織なり行政協力員なり、それから日赤奉仕団とかいろんな団体の会議の際にお願いしておりますので、太田から2人もステージに上がりますので、どうかよろしくお願いいたします。

○会長

他に質問ありませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

質問はないものといたします。ただいまの説明のとおりといたします。

次に、「新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更」について、説明をお願いいたします。

○当局（総合政策課）

【新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更について、配布資料に基づき説明】

平成26年度に大曲地域にある消防庁舎の耐震診断を行った結果、「地震の震動及び衝撃に対して倒壊し、または崩壊する危険性がある。」と判断された。平成27年度に耐震補強を検討したが、業務への支障や費用対効果の面から有効性は認められなかったものの、防災拠点としての消防庁舎の重要性は高いことから、早急に改築すべきとの判断に達した。改築については合併特例債の活用が可能であることから、活用根拠となる新市建設計画に

改築事業を追加するための変更を行うもの。

○会長

ただいま、総合政策課の方から「新市建設計画（大仙市まちづくり計画）の変更」について説明がありました。

ただいまの説明に対して、ご質問・ご意見ありましたらお願いいたします。はい、大信田委員。

○大信田委員

今説明を受けましたけれども、やはり消防の部分についてはいろんな意味で大切な施設というか、重要な位置付けの施設だと思いますので、いろんな問題点があるとすれば直していかなければいけない部分なのかなと、そういうふうに思います。それに伴って、例えば各地域の分署がありますけれども、その建物は大丈夫だというふうな判断なのかなという部分と、あともう一つは現在建っている場所に建てるわけで、話を聞きますと健康増進センターを取り壊してその建物の部分に新しい建物を建てるということですね。そして、出来上がった段階で今の施設を取り壊しすると。そこが駐車場みたいな格好になるのかなと思いますけれども、そういうふうなことで予算の部分もあるかと思えますけれども、支障のないような、現在の建物よりは広くなるのかな、そういうふうなことで是非こういう形で。市の財政にあまり負担にならないやり方というふうなことのようですので、是非やっていただきたいと思えます。以上です。

○会長

他にご質問ありませんか。はい、伊藤委員。

○伊藤勝良委員

これは議会の方で承認されてからということになると思えますけれども、実際建て替えの期間はどのくらいで、その間の体制はどういうふうになるのかということとちょっと聞きたいなと思ひまして。分署の方に分散させるのか、どこか拠点を一時的に作るのかとか、そういうところをちょっと教えていただければと思ひます。

○鈴木総合政策課主任

直接の担当となりますと広域市町村圏組合になりまして、ちょっと詳細につきましては把握していないところがあるんですが、私の方で把握している範囲でお答えしたいと思います。期間としましては28年度から30年度の間であります。私の方で聞いているのは、28年度中に健康増進センターを取り壊すという話です。最終的に今ある既存の消防庁舎を最後まで残して、29年度以降から新庁舎の方を建て終えた時点で現在ある既存の消防庁舎を取り壊すという予定としております。ですので、機能の分散というのは今のところは考えていないみたいで、通常の既存の施設の方に残すといったスタンスをされるという

ことを伺っております。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

質疑がないようです。本件については、ただいまの説明のとおりといたします。

次に、「大仙市公共施設等総合管理計画（案）の概要」について、説明をお願いいたします。

○当局（総務課）

【大仙市公共施設等総合管理計画（案）の概要について、配布資料に基づき説明】

大仙市には800を超える公共施設があり、ハコモノだけでも600を超え、今後の改修や建て替え、機器の更新等を実施していく場合、多額の経費が見込まれている。こうした公共施設の老朽化問題は全国の自治体にとって重要な課題となっていることから、効率的で効果的な施設マネジメントの実施により質と量の適正化を図り、安心・安全で持続可能な公共施設等の維持を実現することを目的に、国からの要請を受けて策定した「大仙市公共施設等総合管理計画（案）」の概要を説明するもの。

○会長

ただいま、総務課の方から「大仙市公共施設等総合管理計画（案）の概要」について説明がありました。

ご意見ありましたら、お願いいたします。はい、水谷委員。

○水谷英明委員（以下「水谷委員」と表記）

何点か教えてもらいたいですけれども、1人当たり延床面積というのがありましたけれども、大体同じような人口の自治体と比べて1.24倍あるということなんですけれども、人口密度も同じくらいですか。

○佐々木総務課参事

ただいまのご質問にお答えします。全体計画、薄い方の冊子の6ページになります。上の方ですね、1人当たり延床面積ということで、類似団体と言いまして、財政規模とか人口とか、それから産業の状態なんかが同じような東北の中の自治体と比較したものです。平均が4.90㎡、大仙市が6.06㎡でしたので1.24倍というふうになっておりまして、東北管内の類似団体の中では高い方の位置に大仙市はあるという。ですから、一人

当たりの面積の大きい、広く面積をいっぱい使っているというふうな部類の自治体になっています。それを表したのがこのグラフになります。一人当たりの使える公共施設を持っている面積が多いという方の部類になります。密度というところまではちょっと比較しておりませんが、大仙市の方が広い理由としましては、やはり8市町村が合併した市であります。山林等が多い広大な面積の自治体になっておりますので、そちらの方を比較した中でグループの中での位置付けというふうになっております。

○水谷委員

全体の考え方としてなんですけれども、減らしていく場合に統合とか廃止とかで数を減らすというふうなことなんですけれども、縮小して数は減らさないというような方法というのは考えに入っているんでしょうか。

○佐々木総務課参事

この縮減なんですけれども、まずは数を減らす方法というのもあると思いますし、面積を減らす、建て替えするときはコンパクトに建て替えるということで、現在よりも面積が小さくなると、サイズダウンするという形の方法もありますし、また、2つ今あるような施設を1つにまとめる、それとか違う種類の3つの建物を1つの建物に複合化すると、デパートみたいに何でもできるような機能の建物にするという方法などをいろいろ考えているところです。

○水谷委員

そうすると、例えば1つの旧町村にあるもの、一緒になっても種類というのは減らないという方向でしょうか。例えば公民館とか図書館とかあった場合は、いろんな機能がまとまっていくとなるんですけども、旧町村にはその項目のものが残っていくのか、それとも3町村に1個とかというふうに考えていくのか、そういうところは大きっぱに言うかどうかというふうな感じでしょうか。

○佐々木総務課参事

今回のこの計画案なんですけれども、地域の意見を第一に考えて作ったものでありまして、やはりそういう取り組みもしている施設もあれば、必ずしも今委員がおっしゃられたような方策をとられていないところもあります。大仙市では、全体的にはこの案の中では数は減るようになっておりますし、面積も減るようになっている案ということで、目標は面積を30年間で今よりも33%減らしましょうというふうな目標に取り組みをしていこうとする計画案でございます。ですので、大仙市全体は減るんですけれども、地域によってその減り方が一律ではなくて、地域によっていろいろ様々、それから地域にある建物も違いますので、その地域の事情に合わせた取り組み方を大仙市ではしていく予定であります。

○水谷委員

あと1つなんですけれども、33ページにコミュニティ施設マネジメント計画とありますけれども、この課題・方向性等を見ますと「大改修により地元へ譲渡できなければ廃止」とあるわけなんですけれども、これは改修してから譲渡できないとその後そこを廃止するという、このとおりのことでしょうか。

○佐々木総務課参事

現在のところ、譲渡ですので譲渡先があるわけですが、例えば地元の人に譲渡するというのであれば大仙市の方ではやっぱり、建物が老朽化しておりますので長く使えるように手を入れて、改修して地元の方に、これからは市が運営するのではなくて地元の方が優先的に主体的になって、こちらで言うと部落会館みたいな形の運営の仕方にしてもらおうというふうな案でございまして。今はこの話で進めておりますけれども、これが具合が悪くなったと、その時点で具合が悪くなったということになった場合は再度検討するという事なんですけれども、その検討の中で考えられるのはやはり市としては運営は今後必要性がなくなるであろうということで、地元の方が受け取ってくれないとすれば、この施設はやめましょうというふうな考えの方向が強いですよという意味合いで文章化になっております。

現在の考え方はこういう形でありますけれども、この計画案は毎年見直ししていきます。地域の方それから譲渡先の人なんかとも話を進めながら、それから建物の老朽化の具合なんか、これよりもっと早く進む場合があって改修をしないといけないとか、逆の場合もありますので、そのいろいろな状況に応じて対応していきたいというふうに考えております。

○会長

他にございませんか。はい、柏谷委員。

○柏谷良雄委員（以下「柏谷委員」と表記）

この計画なんですけれども、計画を作る段階で、これは支所から上がって本庁の方で勘案したのか、はじめから本庁の方でこういう計画ですよということで上げたのか、そこら辺ちょっと教えていただきたいと思いました。

○支所長

柏谷委員のご質問ですけれども、それぞれの所管している施設、市民サービス課であればグラウンド・ゴルフ場とか、農林建設課であれば公園とか、公民館であれば文化プラザとかとあるので、それぞれのところから担当者が集まって、全体でお話をして大体の方向性、それぞれの地域の方向性を一旦出して、もう一回それをローリングしながらここに載せてあるというふうにご理解していただければ。地域の実情を分かっているのは多分支所の職員であろうし、この段階ではこうだけれども毎年見直ししていくことによって変わっ

ていくということもあるだろうし、現段階ではその目標に向かってこんな形でというふうなことを含めて支所からは一旦上げております。

○柏谷委員

分かりました。ということは、各支所の地域によっては格差があるということですよ。そこら辺は本庁の方ではどのような形で一本化するような形に。やっぱり大仙市としての何か目標たるものがあるはずなんですよ、それに向かってこういうマネジメント計画を立てていると思いますけれども、今ざっと見た感じではなんか地域差があるんじゃないかなという感じがしないわけでもなかったもので、ちょっとそこら辺の質問でした。

○佐々木総務課参事

今回のこの案の策定なんですけれども、本庁と支所、それぞれ共同で行った案でございます。支所長とか本庁の課長級の人など32人のプロジェクトチーム、それから施設を直接担当している43人のチーム員、合わせて約80人以上の、庁内でプロジェクトチームを作りまして検討した結果でございます。最初に地域の目線を案として作りしました。その地域の案に基づきまして、今度は大仙市全体の視点でみんなで協議して作り上げたということで2方向の、地域が1番目、2番目が大仙市全体の方向という観点で作った案でございます。それから地域の実情によってやはり、委員がご指摘のとおり今回の計画案の取り組みにつきましても地域によって若干の違いがあります。地域の方で何を大切にしていくなか、残していくのかというのが、やはり考え方が違っているところがあるのかなというふうに私たちは思っております。

○会長

他にありませんか。はい、川原委員。

○川原猪利委員

すごく立派な計画が出来たなというふうに感じます。それで30年後には33%、3分の1削減というふうな方向に向かっていくということで大変結構だと思いますが、30年というとあまりにも先の話だけれども、具体的に例えば5年後、10年後までにはどのようなものはこれに載っていますか。それとも、30年後のゴールだけはそうだけれども、あとはこれから毎年ということであって、極端に言えば29年度はこうしたいとか、せめて30年度はこれはまず廃止するとか、そうやって段々33%になっていくんだろけれども、それはこれに載っていますか。

○佐々木総務課参事

薄い方の冊子の19ページを見ていただきたいと思います。全体計画の冊子の19ページになります。今回30年間で33%の面積を減らしましょうという計画の下の方に青い部分で、私たちの案としましては30年を10年単位の3期計画に設定しました。最初の

10年間では8%やっていきましょと。それから20年目までには全部で18%まで持って行きましょと。そして30年後までは33%に達しましょとということで、一律ではなくて緩やかに33%を達成するような目標設定を考えております。

○会長

他にございませんか。はい、大信田委員。

○大信田委員

この公共施設の中には例えば幼稚園とか保育園、小学校、中学校という教育関係の施設もかなり含まれているわけですが、今いろんな部分で統廃合とか、そういう部分で太田の場合はほとんど合併後そういう状況にはないんですけれども、他の地域ではかなりざっくりと大胆にやっている地域もあるわけですが、やっぱりこれも加味した計画なのかどうかをお伺いしたいと思います。

○佐々木総務課参事

学校関係のご質問だと思いますけれども、今度は厚い方の個別計画の81ページをご覧くださいと思います。大仙市の学校全部で32校、小学校と中学校を全部合わせてなんですけれども、これについての30年間の計画なんですけれども、右側の方に黄色くなって赤字で大きく書かれておまして、現在太田も含めまして統廃合の関係につきましては具体的に何もまだ決まっておられません。それで、今後の児童生徒数の動向を見ながら地域住民と話を進めて、学校の統廃合なんかも考えていきたいというふうな計画になっておりますので、現在は全く白紙の、ゼロベースの状態でございます。ただし、81ページの方に帯で線を引っ張っているところがありまして、例えば31番の太田北小学校を見ていただきたいんですけれども、年度の27、28というところに③のピンクというのがありますけれども、これは上の方を見てもらいますと複式学級という、現在複式学級の状態になっていることを示しております。これが29年度からは今度は赤で④と書いていますけれども、太田北小学校につきましては複式学級が2クラス以上できるであろうというふうに今現在考えられております。やはり児童数の減少に伴いまして今度はそういうふうになるであろうというふうに予想されているということで、各小中学校の現在予想される、児童生徒から予想されるクラスの状況を考えておりますので、こういうものも市民の方にも情報提供しながら、市と地元の人と話し合いを進めながら今後は学校の、西部地区の方は統廃合が大体進んで来ていますけれども、東部地区、こちらの方はこれから進めていきたいと思いますという、まだそういう段階でありますのでご了承願いたいと思います。

○会長

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○会長

質問がないようであります。この件に関しては、今の段階では質疑がないということで説明のとおりといたします。

以上で、本日の議題となりました案件の協議は全て終了いたしました。

この際、委員の皆さんから何かありましたら、お願いいたします。

(「なし」の声あり)

○会長

ないようです。事務局の方から何かありましたら。

○事務局（地域活性化推進室）

【太田地域協議会委員懇談会及び大仙市議会市政懇談会について、報告】

○会長

本日の地域協議会は、これをもちまして閉会といたします。

長時間にわたり、ありがとうございました。

(午後 5時14分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

小 松 泉

高 橋 洋
